



がんば

【第150号】

発行
島原市立第三
小学校育友会
編集
広報部
印刷
正光印刷

二学期の楽しかった思い出 いろいろ



9/17 運動会



9/3 相撲大会



7/16 ドッジボール大会



9/3 グランドゴルフ大会



12/2 マラソン大会

★特集「子育て」
アンケート結果報告

絆

親は！子どもは！
今、何を
求めているか？

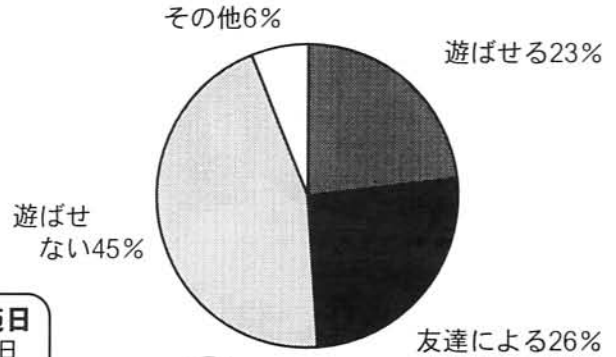
アンケート報告



「いった子育て真最中の子どもと向きあえたらいいですね。」について考えてみませんか…。アンケートを実施しました。

アンケート実施日
平成12年10月5日
～10月11日
回答率 80%

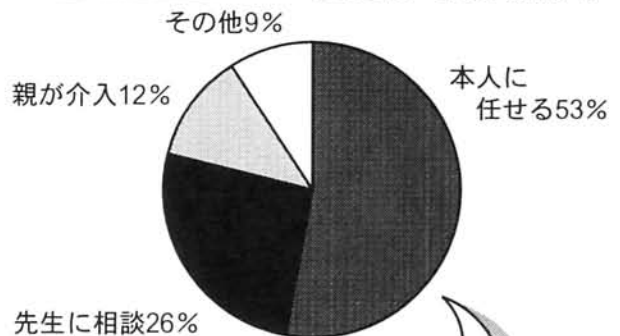
Q1：家族の留守中、家で遊ばせますか？



※理由

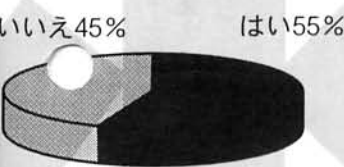
- 1、事故やケガの心配と責任問題
- 2、火事の心配
- 3、たまり場になる恐れがある

Q2. 子ども同士のトラブル、どうしてますか？



アンケートの集計では、トラブルの内容により異なるが、ほとんどはまず本人に任せ、それでも解決できない時に、先生に相談し、親が介入して解決に当たるという段階的な考えが多かったようです。

食事の時、家族がそろっていますか？



共働きや子どもの習いごとが多い中で、できるだけいっしょに食事をしようと努力していることがわかりました。

子どものサインに気づいてますか？

「何となく？」と聞かれて答えられますか？

Q4. 子どもに頼られていると感じるのはいつ？

- 1、悩み（学校や友人）を相談される時
- 2、勉強・宿題などわからないことを尋ねられる時
- 3、病気や体調が悪い時

- (A) 子供に対する「しつけ」というよりも、親自身の気のあせりや、余裕のなさで、ついつい感情的な対応ばかりして、しよつちゆう自己嫌悪に陥ってしまうとよねえ。
- (B) 右の子どもの作文のことやろ?! そう、そう、考えてみたら、私も子どもに対して会話をするといいよりも、命令や、「早く! せんね」という言葉しか言いよらんもんね。
- (A) ねえ、今日の広報部会は、やつちや考えさせられたよね。

広報部井戸端会議

子どもの目には
ドキッとさせられる

「つちのおかあさんには、朝あきたら、かおあらいなさい、きかんなさい、かおをあらって、きがえたら、早くすわいなさい、早くたべなさい、そして早く時は、ジャンパーきなさい、早く行きなさい、そして早く時、おふろはいつから、おふろにはいつから、日やくなさい、いつもおんがぶようには、いいですよ。

Q7. 子どもといっしょにいる時は
どのように接していますか？

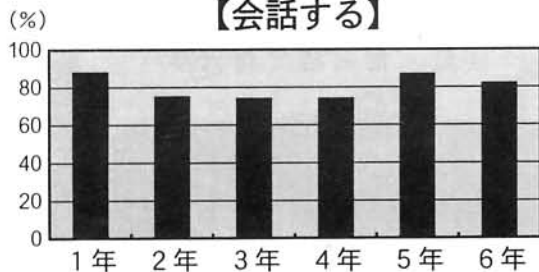
特集「子育て

コミュニケーション コミュニケーション コミュニ
トップは会話重視
コミュニケーション コミュニケーション コミュニ

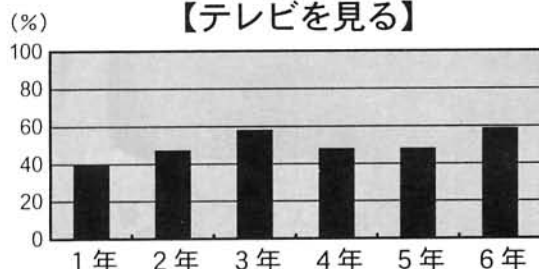


悩んだり、迷ったりと
日々ですが、もっと自信を持って、
ちょっと立ち止まって「親子の絆
という趣旨でアンケ-

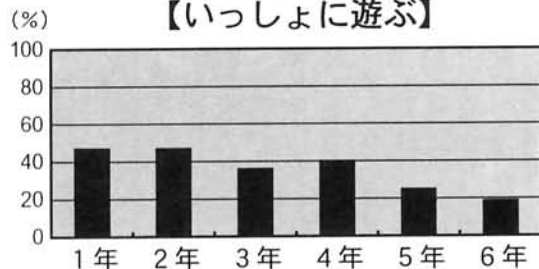
【会話する】



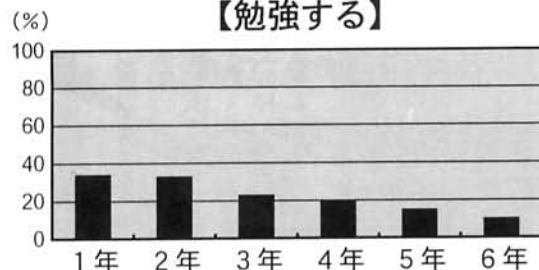
【テレビを見る】



【いっしょに遊ぶ】



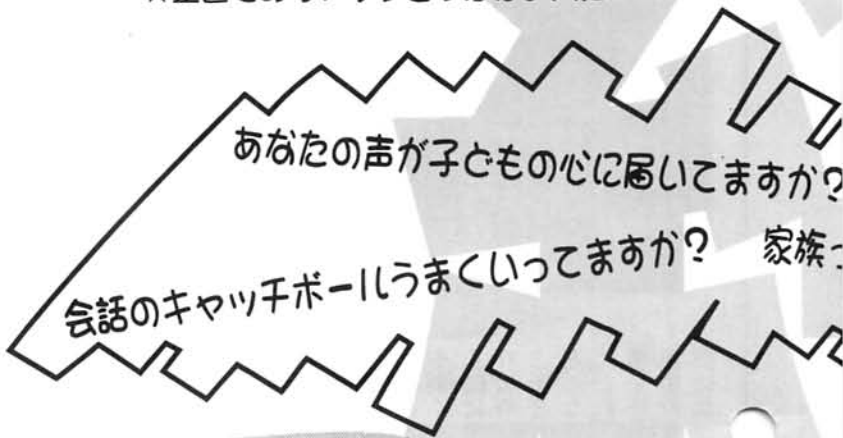
【勉強する】



Q3.

Q5. 我が家の「子育て」モットー

- ★コミュニケーションを大切に!!
・挨拶やふだんの会話
- ★思いやりの気持ちを大切に!!
・人間だけでなく動植物にも
- ★正直であり、ウソをつかない人に!!



あなたの声が子どもの心に届いてまあか?

会話のキャッチボールうまくいってまあか? 家族

Q6. 現在の悩み?

1. 言葉遣いや反抗する時の教育
2. 友人関係 (トラブル、いじめ)
3. 子どもの教育 (勉強、しつけ、将来の不安)

「子育ては、親自身を映し出す鏡」

と、よくいわれますが、今回の子育てに関するアンケートの集計結果から、各家庭、それぞれに事情や方針は異なるものの、子どもに一番適した環境作りを一生懸命に実行したり、模索したりしている姿が、浮んできます。

常に子どもに関心を持つことによって、日々の変化に気づいたり、成長を喜んであげることができます。

声にはならない子どもの気持ちをくみ取ってあげることから、親子の絆は深まっていくものではないでしょうか。

-アンケート結果より-

(B) うちだけかと思つたら、案内
みんな同じ悩みを持つとね。
何か、少しだけ安心する部分も
あるね。

(C) “待ちの子育て” “ゆとりある子
育て” “あるいは、せめて” “子ど
もの話をゆっくり聞いてやる”
とか、親として心がけておきた
かよね...

「総合的な学習の時間」の実践を通して

研究発表

11/8

平成十四年度から始まる完全学校週五日制にもない、戦後最大とも言われる教育改革（新学習指導要領の導入）が実施されます。その一つとして、各教科や特別活動とはまたちがった新しい領域となる「総合的な学習の時間」が創設されます。

この時間のねらいは、体験不足と言われる現代の子供たちに「自分で課題を見付け、追求していく資質や能力、態度を培っていく」ことであり、その学習内容は、各学校独自のカリキュラムに任されています。

本校では、島原市教育委員会の指定を受け、昨年度からこの「総合的な学習の時間」の研究を進めてまいりました。そして、二ヶ年



の研究の成果を去る十一月八日に研究発表会を開催し、島原・南高約一二〇名余りの先生方に御検討いただきました。

この「総合的な学習の時間」は、三年生から六年生に導入され、平成十四年度には年間約一〇〇時間の実施が見込まれます。

本校では、十一年度二〇〇三〇時間、十二年度五〇〇七〇時間、十三年度七〇〇九〇時間と、三年計画で徐々に実践をふくらませていっています。

研究発表会では、三年生は、単元「もつと知りたいたわしたたちの町 白山」を学習しました。社会科「わたしたちのくらしと商店」の学習の補完として、みなと商店街の皆様にご協力いただき、十九店舗に分かれ店員体験をしました。当日はその学習のまとめとして体育館にミニ商店街をつくり学習発表会を開催しました。

五年生は、単元「共に生きる」を学習しました。障害者の方々との交流を通して、お互いのちがいを認め合い支え合いながら共生していくことの大切さを学んでいます。

六年生は、単元「島原再発見」を学習しました。島原市民一五〇〇人に聞き取り調査を行ない、島原の特徴として最も推薦を受けた湧水、雲仙噴火災害、島原城（島原の歴史）の三つについて各学級ごとに追求しています。

当日は授業をしませんでしたが、四年生は、一学期に単元「わたしたちの平和」を学習し、地元のおじいちゃん、おばあちゃん方の戦争体験をもとにレポートをまとめました。

このように、「地域の中で育てられていく、本校なりの総合的な学習」の実践を積み重ねているところであります。

（文責 菅 秀康）



白山家庭教育学級 健康講座

11/24

健康部長 松尾 浩子

十一月二十四日、「成長期における食生活について」というテーマで、県スポーツ栄養研究会管理栄養士の村元淑子先生に講演していただきました。



「頭を良くしたい」「はやく走りたい」「背を高くしたい」子をもつ親にとつて、最も関心のあることです。それらをかねるために「野菜を取り入れたバランスのとれた食事」がいかに大事かということ、村元先生が楽しくわかりやすくお話しされ、予定時間も瞬く間に過ぎ、活発な質疑応答もあり和やかな講演会でした。子ども達が成長する真つ最中、どんな内容の食事をいつどのようにとればいいのか、毎日家庭で食事を作る親として、あらためて「成長期の食」の大切さを認識する機会になったことと思います。

寒い中、御参加の皆様ありがとうございました。

まごのぞんしゃカース少年

【平成十二年 試合成績】

八月五日・六日

第十八回男子全九州小学生ソフトボール大会 三位

十一月三日(金)

第七回スポーツハウス旗少年ソフトボール大会

十一月十二日(日)

第一回教育委員会杯 Aクラス・Bクラス 優勝

十一月十九日(日)

長崎県秋季少年ソフトボール大会 優勝



編集後記
は割愛させて頂きます。
来年もよろしく
お願い致します。

